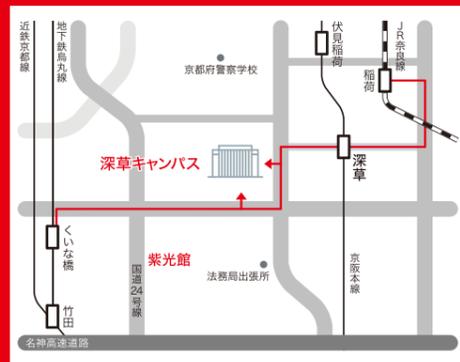


■お問い合わせ先

龍谷大学キャリアセンター・
インターンシップ支援オフィス(深草)

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL: 075-645-2322
FAX: 075-645-2380
intern@ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

深草キャンパス

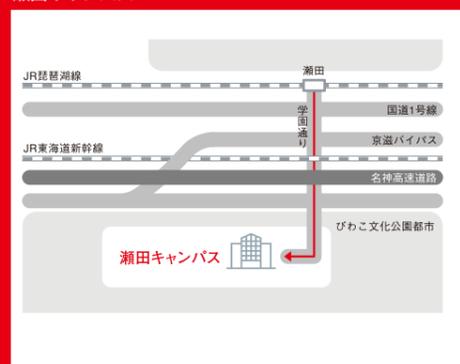


- 地下鉄「京都」駅から竹田方面へ「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分
- JR「京都」駅から奈良方面へ「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪「祇園四条」駅から淀屋橋方面へ「深草」駅下車、西へ徒歩約3分

龍谷大学キャリアセンター・
インターンシップ支援オフィス(瀬田)

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5
TEL: 077-544-7265
FAX: 077-544-7264
intern@ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

瀬田キャンパス



- JR「京都」駅から米原方面へ「瀬田」駅下車、バス約8分

2019 INTERNSHIP PROGRAM

龍谷大学インターンシッププログラム

https://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/

You,
Unlimited



龍谷大学 インターンシップ・プログラム 実習生 受入のお願い

本学では、インターンシップを学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして位置づけ、全学的に取り組んでおります。

なかでも「協定型インターンシップ」は、本学独自の特色ある教育プログラムです。このプログラムでは全21講におよぶ事前・事後学修を本学の専任教員がグループワークを中心とするゼミ形式で運営しており、学生一人一人の社会的・職業的自立へ向け、必要な基盤となる能力や態度を育み、大学での主体的な学修への動機付けと自らの将来設計を促すものとして、2006年度から実施しております。

2018年度は85名の学生が企業・団体様に実習生としてお世話になりました。企業・団体様には2週間程度の夏期休暇期間に行われるインターンシップにご協力いただいております。

インターンシップを受け入れるメリット

就職活動スケジュールの変更によって、学生はインターンシップに参加することで自身のキャリア形成の方向性を見出そうとする傾向が強まっており、インターンシップの重要性は、ますます高まっています。

インターンシップに参加する学生は、学内で実施する事前学修を受講することによって、社会人として役立つビジネスマナーやインターンシップ参加にあたっての社会人としての心構えを学び、その上で実習に臨みます。実習後は、受入先企業・団体様をお招きしての報告会、評価会（懇親会）も実施しており、大学との連携も深めていただくことができます。（※協定型インターンシップ受入企業・団体様にご案内しております。）

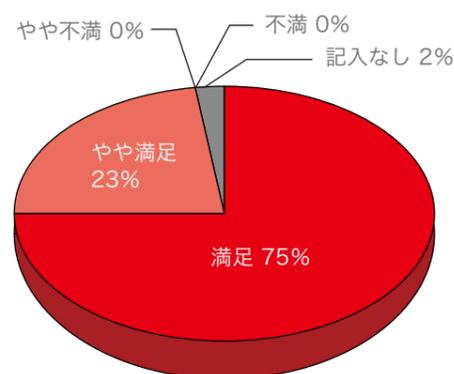
■受け入れ企業（団体）のメリット ～大学・学生と接点を持つことができる～

1. 企業PR
社会貢献の視点だけでなく、学生に企業・団体の果たす役割を理解させ、企業ブランドイメージアップ、知名度、認知度の向上にも結びつきます。
2. 職場の活性化と若手社員の育成
慣習となって気付かない職場の矛盾を発見し、学生からアイデアを得られることもあり、また、学生を指導していただく若手社員の方々の育成、成長に結びつく効果も期待できる等、職場の活性化にもつながります。

【2018年度 協定型インターンシップ 企業・団体様アンケート結果】

Q プログラム全体をとらして満足度はいかがでしたか

▶ 「満足」「やや満足」を合わせ、98%の企業・団体様にご満足いただきました。



ご意見・ご感想(抜粋)
 ・受入承諾書の提出から受入までの手続きのスケジュール感もよく、受け入れさせていただいた学生のレベルも高く、全体を通して満足です。
 ・店舗実習先で大きなイベントがあり、大成功に終わりました。店長からインターンシップ生の活躍のおかげだとコメントを貰いました。また、その他の店舗でもインターンシップ生の評判は上々です。特にインターンシップ生を担当するスタッフは「伝える・教える」ことの難しさを学んでくれ、スタッフたちの成長にもつながったと思います。
 ・「当社への理解を深めていただく。」という最大の目標を達成できました。

龍谷大学 インターンシップ・プログラム 対照表

		協定型インターンシップ	短期体験型インターンシップ
開始年度		2006年度～	2013年度～
実習期間		原則、2週間(実働10日間)以上	原則、1週間(実働5日間)以上
実習時期		夏期休暇期間中 (原則、8月19日(月)～9月7日(土))	
企業様の申込期限		2019年2月22日(金)	2019年5月17日(金)
学生への告知※	インターンシップガイダンス (2018年度参加者数 約1,400名)	○	○
	龍大就職ナビでの情報掲載		
単位認定		○	—
選考・マッチング方法		書類および面接選考により 大学側にてマッチング	書類選考により 大学側にてマッチング
事前・事後学修	インターンシップ参加前	90分×13回	90分×7回
	インターンシップ参加後	90分×8回	90分×1回

協定型インターンシップ 実習内容の一例

A社(営業系)

日程	内容
●月●日	オリエンテーション・業界説明・会社説明
●月●日	店舗実習・接客業務
●月●日	営業同行
●月●日	営業同行
●月●日	営業同行
●月●日	他大学生とともに疑似会社説明会の体験
●月●日	店舗実習
●月●日	商品管理業務・ピッキング
●月●日	営業体験(配送・交渉)
●月●日	産業フェア見学・総括・意見交換会

(全10日間)

B社(技術系)

日程	内容
●月●日	オリエンテーション・会社説明
●月●日	製造部門の業務説明
●月●日	部品加工
●月●日	部品加工
●月●日	設計部門の業務説明
●月●日	CAD操作
●月●日	CADによる図面作成
●月●日	営業所見学
●月●日	プレゼンテーション準備
●月●日	成果発表会

(全10日間)

C社(スポーツ系)

日程	内容
●月●日	スケジュール説明・会社概要
●月●日	大会準備・企画
●月●日	大会会場設営・搬入
●月●日	開会式・リハーサル準備
●月●日	式典準備・運営
●月●日	抽選会運営・選手誘導
●月●日	式典準備・運営
●月●日	式典リハーサル
●月●日	閉会式運営
●月●日	最終報告会

(全10日間)

協定型インターンシップ

2019年度 事前・事後学修(予定)

専任教員がゼミ・演習のように責任を持って運営しております。
「社会人基礎力」に代表されるような、社会で求められる様々な能力が身につくプログラムとなっています。

	講義名	内容
第1講	オリエンテーション	・総合コーディネーター挨拶、担当教員からのコメント ・インターンシップにどのような態度で臨むべきか ・事前、事後学修の概要と諸注意
	龍谷大学の歴史(自校史学修)	自校史を知り「龍大代表」としての自覚を持つ
第2講	事前学修全体ワーク	コミュニケーションスキルに関するワークショップ
第3講	事前学修グループワーク①	ゼミ形式によるグループワーク
第4講	事前学修グループワーク②	
第5講	ビジネスマナー①	心構え、第一印象、敬語の使い方、マナー など
第6講	ビジネスマナー②	電話応対(事前訪問時の電話応対)、来客応対、名刺交換 など
第7講	OB/OGによる パネルディスカッション	「私にとっての職業。職業を通じて考える人生」
学生による実習先事前訪問(原則、7/1～7/12)		
第8講	事前学修グループワーク③	ゼミ形式によるグループワーク
第9講	事前学修グループワーク④	
第10講	事前学修グループワーク⑤	
第11講	「職」の専門家による仕事概論	企業経営者等による講演(予定)
第12講	実習直前オリエンテーション	インターンシップの意義、準備、諸注意、ハラスメントについて
	結団式	総合コーディネーター・担当教員からのコメント
第13講	事前学修グループワーク⑥	ゼミ形式によるグループワーク
インターンシップ実習(原則、8/19～9/7)		
第14講	実習後オリエンテーション	総合コーディネーター 実習後の確認 30分程度
	事後学修グループワーク①	ゼミ形式によるグループワーク
第15講	事後学修グループワーク②	
第16講	事後学修グループワーク③	
第17講	事後学修グループワーク④	
第18講	事後学修グループワーク⑤	
第19講	事後学修グループワーク⑥	
第20講	報告会	学修成果をプレゼンテーション
第21講	評価会	企業・団体担当者様より評価をいただくと共に交流を深める



▲「なぜマナーが必要か」をテーマにグループで話し合い、単なるノウハウに終始せず、自ら考え答えを見つける主体性を身につけます。



▲実習を通じて喚起された問題意識、関心、経験等を今後の大学での学修課題や人生設計(職業設計)に繋げることで、インターンシップを総括します。



▲実習終了後の報告会で、実習生同士振り返りを共有し、学びの成果を深めます。



▲報告会終了後の評価会。実習受入先のご担当者様との交流を深めます。

実習生インタビュー

参加した学生は確かな成長を実感し、未来に向けて羽ばたきます。



村松 志穂さん
文学部仏教学科
3年生

インターンシップ先▶株式会社JTB 京都支店

Q. インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

A. 動機としては、長期のインターンシップを3年生の夏に経験しておきたかったことに起因します。また、漠然としていた「社会で働く」というイメージをつかみ、自己の視野の拡大と今後の授業や就職活動に生かしていきたいと考えたからです。協定型インターンシップは、事前事後学修が充実しており、龍谷大学と企業が連携しているため、安心してインターンシップに参加できると思いました。企業への志望理由としては、旅行関係の国家資格を在学中に取得したためと、業界トップのJTBに行くことで、旅行業界の需要や将来像を知ることができると考えたからです。

Q. インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

A. 多くの反省点と収穫があったインターンシップでした。反省点としては、全体的に自己主張が少なかったことです。また、プレゼンテーションを進めていくにあたって、自分の企画力のなさや資格取得の際に得た知識が実践にすぐに活かさないことを痛感しました。収穫としては、他大学の学生と共に協力して業務やプレゼンテーションをすることで、お互いに高め合い、良い刺激になったことです。また、自分の志望している業界の社会人の方と話す機会は減多にないため、就職活動の様子や、仕事の魅力や大変さを聞くことができ、とても有益な経験となりました。



牛村 健人さん
政策学部政策学科
3年生

インターンシップ先▶株式会社エーピーシー商会

Q. インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

A. インターンシップに取り組もうと思った理由は、2つあります。1つめは、ビジネススキルやビジネスマナーを身につけたかったからです。社会に出る上で、自分はまだまだ社会のことが分かっていませんでしたので、実際に社会で働いている人達と共に働くことで、スキルやマナーを学びたいと思いました。2つめは、自分の弱点を発見し克服したかったからです。社会人の方と共に働くことで、自分に足りていないことを明確化し、それを克服して社会に出たいと思いました。これらがインターンシップに参加しようと思った動機です。

Q. インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

A. 私は、建築資材のメーカー兼商社である企業に行きました。商社なので主に営業を経験させてもらいました。最初は、営業では何をするか分かりませんでした。営業と言っても、打ち合わせや施工現場の状況確認など様々な業務があり、毎日違う社員の方と、違う業務に関わらせていただいたことで、営業ではどうしているのか分かるようになってきました。そして、営業においては、いかに相手に話してもらおうかが大切だということ学びました。さらに、話している中で、上手く相手のニーズを汲み取り、それに合わせて提案することが大事だと分かりました。

2019年度 年間スケジュール [協定型インターンシップ]

時期	企業・団体	大学	学生
～ 2/22(金)	①『受入承諾書』の提出		
～ 3/22(金)	②実習内容の登録		
4/9(火)～4/12(金)		インターンシップガイダンスにて プログラム説明	
5月上旬			出願
5月下旬		選考・マッチング	
6月中旬		インターンシップ 実習生カードの送付	
～ 6/26(水)	③『実習日程表』の提出		
6月下旬	④協定の締結		
7/1(月)～7/12(金)			⑤事前訪問
8/19(月)～9/7(土)	⑥インターンシップ実習(実働10日間以上)		
実習終了後	⑦『実習評価書』の提出		
9月13日(金)	⑧報告会・評価会		

①『受入承諾書』の提出…メール

本パンフレットに同封しております。
『受入承諾書』をご提出いただいた企業・団体様に、以降の詳細なお手続き内容についてご案内いたします。

②実習内容の登録…WEB登録

龍谷大学WEBサイトから実習内容(受入部門・実習内容・条件など)をご登録ください。
※WEBサイトにログインいただく際のユーザ名(ID)を郵送にて、パスワードをメールにて送付いたします。
※学生への公開は4月上旬となります。

③『実習日程表』の提出…メール

実習生の決定後、『実習日程表』のフォーマットをメールにて送付いたします。
※貴団体独自の様式でご提出いただいても結構です。
※プログラム策定にあたって不明な点がございましたら、担当者にご相談ください。

④協定の締結…郵送

実習生の決定後、大学より『協定書』を2部郵送いたしますので、ご捺印のうえ、1部を大学にご返送ください。

⑤事前訪問

実習生自身が事前連絡のうえ、ご担当者様を訪問させていただきます。
可能な範囲で以下の点をご確認・ご指導いただきますと、実習中のトラブルが減るとともに高い実習効果が期待できます。
○実習期間・就業時間・休日、○目標値(達成目標)の設定、○実習内容、○準備が必要な物品、
○服装・身だしなみ、○実習部署ご担当者様との顔合わせ、○職務規程 など
※事前訪問の際、学生が『誓約書』および『課題レポート』を持参しますので、お受け取りください。
※事前説明会を別途予定されている場合は、期間外に設定していただいても結構です。

⑥インターンシップ実習(実働10日間以上)

原則として、本学の夏期休業中(8/19～9/7)に2週間程度(実働10日間)にてお願いしております。
また、実習期間中、実習生は毎日の実習内容や感想等を記入した『日報』を受入先ご担当者様(実習部署ご担当者様)に提出いたします。
本人へのアドバイス等をご記入・ご捺印いただき、実習生にお渡しください。
※原則として実習期間が10日間に満たない場合、「短期体験型インターンシップ」にて実施いただきます。
※日報は原則として、実習終了後、実習生から大学へ提出いたします。

⑦『実習評価書』の提出

「実習評価書」は、日報に含まれますので、実習最終日に学生にご提出ください。

⑧報告会・評価会

学内で開催する報告会では実習生の成果報告をお聞きいただき、評価会にて実習生・担当教員と情報交換いただきたいと思います。

2019年度 年間スケジュール [短期体験型インターンシップ]

時期	企業・団体	大学	学生
4/9(火)~4/12(金)		インターンシップガイダンスにてプログラム説明	
~ 5/17(金)	①『受入承諾書 兼 受入プログラム・要項』の提出		
5月下旬~ 6月上旬		短期体験型インターンシップガイダンスにてプログラム説明	
6月中旬			出願
6月中旬~下旬		選考・マッチング	
6月下旬		インターンシップ実習生カードの送付	
7月上旬	②協定の締結		
~ 7/12(金)	③『実習日程表』の提出		
7月下旬			④電話による事前確認
8/19(月)~9/7(土)	⑤インターンシップ実習(実働5日間以上)		
実習終了後	⑥『実習評価書』の提出		

①『受入承諾書 兼 受入プログラム・要項』の提出…メール

本パンフレットに同封しております。

②協定の締結…郵送

実習生の決定後、大学より『協定書』を2部郵送いたしますので、ご捺印のうえ、1部を大学にご返送ください。

③『実習日程表』の提出…メール

実習生の決定後、『実習日程表』のフォーマットをメールにて送付いたします。

※貴団体独自の様式でご提出いただいても結構です。

※プログラム策定にあたって不明な点がございましたら、担当者にご相談ください。

④電話による事前確認

実習生自身が電話連絡のうえ、ご担当者様に事前確認させていただきます。

可能な範囲で以下の点をご確認・ご指導いただきますと、実習中のトラブルが減るとともに高い実習効果が期待できます。

- 実習期間・就業時間・休日、○目標値(達成目標)の設定、○実習内容、○準備が必要な物品、○服装・身だしなみ、○実習部署ご担当者様との顔合わせ、○職務規程 など

※協定型インターンシップとは異なり、直接訪問はいたしません。

企業・団体様の側で訪問を必要とされる場合は、別途お申し付けください。

⑤インターンシップ実習(実働5日間以上)

原則として、本学の夏期休業中(8/19~9/7)に1週間程度(実働5日間)にてお願いしております。

※協定型インターンシップとは異なり、『日報』提出の指示はいたしません。

企業・団体様の側で提出を必要とされる場合は、別途お申し付けください。

⑥『実習評価書』の提出…郵送

実習終了後1週間以内を目処にご提出ください。

受入企業・団体様からのご意見

2018年度に実習生を受入いただいた企業・団体様に対するアンケートにて頂戴したコメントを紹介します。「協定型インターンシップ」と「短期体験型インターンシップ」には実習日数、事前・事後学修の授業時間数などに違いがありますが、いずれも高い評価をいただいております。

協定型インターンシップ

(学生との接点創出について)

- ・とても優秀な学生をご紹介いただいています。

(各種手続について)

- ・受入承諾書の提出から受入までの手続きのスケジュール感もよく、受け入れさせていただいた学生のレベルも高く、全体を通して満足です。
- ・学生募集から選定、派遣前教育まで、しっかりとカリキュラムを組んでいただきました。
- ・早期から、わかりやすく手続きを進めていただきました。

(大学側の対応について)

- ・ビジネスマナー等は事前に大学でご教授いただいていたようで、非常に良かったです。
- ・全体の発表会の見学もさせていただけるので、ありがたいです。
- ・台風などの災害時の指示もいただけたので安心できました。
- ・事前学修から最終報告会までの学内実施内容や、コーディネーターによる中間指導での訪問など、学生の成長をフォローする体制が整っており満足しています。企業としても、大学と一緒にプログラムを進められる安心感があります。

(社内活性化について)

- ・特にインターンシップ生を担当するスタッフは「伝える・教える」ことの難しさを学んでくれ、スタッフたちの成長にもつながったと思います。
- ・毎年、意欲的な学生が来られるので、社内の既存社員にとっても良い刺激となっています。
- ・毎年、熱心な学生との出会いを通じて、自分自身も初心に立ち戻ったり、客観的に業務を捉える機会にもなっております。

(学生について)

- ・龍谷大学の学生は明るく元気でありながら、堅さや真面目さも持った学生が多いのでまとめ役になってくれることが多いです。
- ・店舗実習先で大きなイベントがあり、大成功に終わりました。店長からインターンシップ生の活躍のおかげだとコメントを貰いました。また、その他の店舗でもインターンシップ生の評判は上々です。
- ・業務遂行のスピードが速く、どのプログラムにおいても前向きに取り組んでいました。
- ・もともと意欲の高い方で注目しておりましたが、得意先訪問や社内各部署での研修を重ねて刺激を受け、最終の企画プレゼンでは、ハードルの高いテーマを掲げて取り組み素晴らしかったです。
- ・大学1年生ながらとても落ち着いていて、礼儀正しく課題に対しても真摯に向き合っていました。
- ・様々な質問により当社を熱心に理解しようとする姿勢が感じ取れました。特にインターンシップ報告会における発表では、当社についてほぼ完璧に伝えてくれました。
- ・作業場に入る際に元気良く挨拶するなど、非常に好印象でした。
- ・受講態度も真面目で、同行訪問ではしっかりお客様に挨拶ができていたと営業課員からも報告がありました。

短期体験型インターンシップ

(学生との接点創出について)

- ・学生が企業選びの際にどのような点を重視しているか等、直接聞くことができました。
- ・インターンシップを実施することが初めてでしたが、現役の学生様と直接コミュニケーションを図れる点がよかったです。

(大学側の対応について)

- ・例年通りスムーズに受け入れることができました。
- ・災害時の取り扱いに関する情報連携をいただき、安全に運営することができました。

(社内活性化について)

- ・自社やその事業、業界に興味を持っていただけました。学生の成長をリアルに感じられ、社員に指導する機会を持たせることができました。
- ・学生の仕事に対する考え方などを採用の参考にできると思いました。
- ・当社の事業・サービスについて学生視点で提言をいただき、非常に参考になりました。また、社員の刺激にもなり受け入れによって効果を得ることができました。
- ・現場の社員の教育、指導のヒントになりました。
- ・若い思考、若い世代のアイデアには感服させられました。

(学生について)

- ・他の大学の実習生(3回生)の模範となるような実習状況であり、受入側としましても、刺激を受ける等、大変有意義なインターンシップにさせていただきました。
- ・ひとつひとつのことに真剣に取り組む姿勢がとても好印象でした。いつも笑顔で受け答えもハキハキしていて気持ちよかったです。
- ・事前準備をしっかりとされ、受講に臨まれていたのでスムーズに受け入れることができました。
- ・質問にも的確に答え、しっかり自分で考えている印象がありました。自分自身が成長する機会と捉えたいという気持ちが非常に良く伝わって来ました。

2018年度 受入企業・団体(実績) ※敬称略(50音順)

■協定型インターンシップ

青山商事株式会社

株式会社朝日新聞社

株式会社伊賀の里モクモク手づくりファーム

英和株式会社

株式会社エービーシー商会

株式会社エスワイシステム

榎本薬品株式会社

近江八幡市役所

株式会社大垣書店

大阪シティ信用金庫

大津観光株式会社 里湯昔話雄山荘

株式会社ODKソリューションズ

株式会社カース・キャリアセンター

京都信用金庫

京都中央信用金庫

株式会社京都東急ホテル

株式会社京都パープルサンガ

京都三菱自動車販売株式会社

小泉産業株式会社

劑盛堂薬品株式会社

株式会社三笑堂

株式会社JTB西日本

Joyful喜一ホールディングス株式会社

生活協同組合コープしが

象印ファクトリー・ジャパン株式会社

總本山醍醐寺

双林株式会社

株式会社ソフトウェアコントロール

大平印刷株式会社

学校法人大和学園

株式会社たけびし

但陽信用金庫

株式会社チクマ

株式会社塚原運送

D-matcha株式会社

株式会社図書印刷同朋舎

ナビオコンピュータ株式会社

奈良トヨタ自動車株式会社

株式会社日興商会

ノバシステム株式会社

野村證券株式会社

株式会社阪急オアシス

株式会社ビーイング

東近江市役所

株式会社日立ハイテクソリューションズ

NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議

株式会社プリンスホテル グランドプリンスホテル京都

森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社琵琶湖リゾートホテル

由利ロール株式会社

ラク株式会社

■短期体験型インターンシップ

アートコーポレーション株式会社

株式会社アットスクール

尼崎信用金庫

飯田グループ(株式会社飯田)

岩下株式会社

株式会社エーアイテイ

榎本薬品株式会社

株式会社OVO

一般財団法人大阪教育文化振興財団 キッズプラザ大阪

一般財団法人大阪スポーツみどり財団

大津市議会局

小川珈琲株式会社

株式会社カース・キャリアセンター

株式会社カイトックホールディングス

株式会社学情

加藤産業株式会社

株式会社かめいあんじゅ

株式会社川勝總本家

カワソールテクセル株式会社

株式会社関西マツダ

北おおさか信用金庫

近畿日産株式会社

株式会社近畿日本ツーリスト関西

株式会社神戸製鋼所

コーナン商事株式会社

滋賀ダイハツ販売株式会社

滋賀中央信用金庫

株式会社十六銀行

株式会社聖護院八ッ橋総本店

株式会社スーパーコート

スタイレム株式会社

株式会社スタジオアリス

生活協同組合コープこうべ

センコー株式会社

株式会社大新社

大成建設株式会社

高木証券株式会社

株式会社たけでん

株式会社長府製作所 滋賀工場

徳島ヴォルティス株式会社

長浜信用金庫

株式会社ナジック・アイ・サポート

ナビオコンピュータ株式会社

日本住宅流通株式会社

株式会社日本総研情報サービス

日本電設工業株式会社

ネットヨタ中央大阪株式会社

株式会社パソナグループ

パナソニックソリューションテクノロジ株式会社

阪神ロジテム株式会社

株式会社平和堂

株式会社マルハチ

株式会社三井住友銀行

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

株式会社山星屋

裕進観光株式会社ANAクラウンプラザホテル京都

株式会社りそな銀行

学校法人龍谷大学付属平安中学校・高等学校

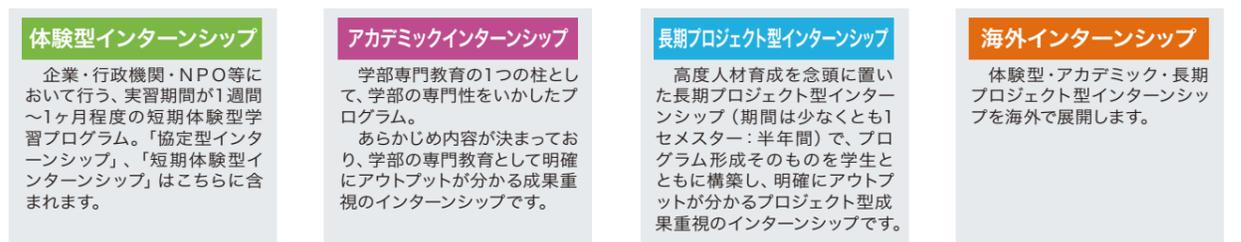
渡辺パイプ株式会社

ICS関西(Internship&Creationship Study)関西)

※龍谷・京都産業・甲南・京都女子・大阪経済大学生が参加する共同プログラム

4つのタイプのプログラム

本学では協定型・短期体験型インターンシップ以外にも様々なプログラムを全学で展開し、学生の自立とキャリア形成を支援しています。



基本理念

龍谷大学で実施するインターンシップは、「社会現場での実体験を通して、大学における学びの意義を認識し、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラム」として位置づけ全学的な取り組みとして展開します。

- ①社会現場を踏まえた幅広い知識とスキルの教育
- ②人生観・職業観確立への支援
- ③自主性・自立性・社会性の涵養等を目的としたコーオプ教育

